

スローテンポ通信

第 23 号

2019年1月10日

発行: 一般社団法人スローテンポ協会
〒329-0403 栃木県下野市医大前 3-7-4-3F

☎ 0285-35-2888

Eメール usagimokamemo@gmail.com

ホームページ

<https://slowtempo0401.jimdo.com/>

☆ スローテンポ協会は、「誰もが働き誰もが輝く」をスローガンに、モデル事業を展開します。

◎ あなたのお力お貸しください!

進行中のプロジェクト:

- ※ 街の本屋の生き残り作戦
- ♥ 新しい形のカフェづくり
- ❖ 小規模経営の最低限の経理

関心のある方は当協会まで。



知の世界への変な案内人
スローテンポ書店
営業: 火~土 13時~19時



☆ 『あなたが知らないだろう おすすめ 100 選』

A4版 12 ページ、無料、書店にあります。

☆ 新着からスゴイ本 1 冊

『反戦歌 戦争に立ち向かった歌たち』

竹村淳 著

アルファベータブックス 2018年
2000円+税

美空ひばりが、第1回広島平和音楽祭で特別な思いを込めて歌った曲が「一本の鉛筆」だった。著者しか知りえない情報が満載で、戦争に明け暮れた20世紀を平和を求める庶民の視点でとらえ直すことができる。読んでいて著者の熱い思いが伝わってくる。



どなたも歓迎・懇話会

社会参加は、人と話すことから始まります。水曜日午後7時~9時、参加無料。

自治医大駅東口

バリアフリー工事

に対する提言

スローテンポ協会
バリアフリーグループ

(ホームページ掲載内容を抜粋して紹介します。詳細は[原文](http://slowtempo1.web.fc2.com/pdf/teigen-s.pdf)
<http://slowtempo1.web.fc2.com/pdf/teigen-s.pdf>
をご覧ください。)

まず現状の2つの問題点を、きちんと認識していただきたい。

(1) 車優先のため歩行者が常に危険にさらされている

運転手は車には注意を払うが歩行者を見ない。車が歩道を占拠する。車が突然バックで発進する。等々、街全体が車優先で、歩道があってもなくても、歩行者は危険と隣り合わせの状態です。

(2) 車が乗り上げるから歩道が傷む

歩道に乗り上げる車両の多くが事業者の事業に関わるものです。それを税で補修するのは筋が通りません。歩道の補修および維持管理の費用は、損傷させる事業者が相応に負担すべきです。

そのような現状に対し、市から提示された工事案は、ツタヤ裏通りを一方通行にして歩道を設ける。市道2007号線の歩道の幅を50cm狭くする、というものでした。

ツタヤ裏通りに関しては、地権者たちから強い反対が出ました。市道2007号線の歩道については、目的や理念が不明確で、現状の問題点を認識していないように思われました。

計画の前に、市担当者、地域住民、それに事業者の間で、現状認識と意識改革が必要です。特に歩道を私物のようになっている事業者には、自覚が求められます。

みなが問題を理解し、共通認識のもとで工事が進められたなら、自治医大駅東口は、高齢者も障害者も安心して歩ける街となり、誰もが賞賛するバリアフリーの街になります。

それを願って3つの試案を提示します。

①別ルート案

ツタヤ裏通りと市道2007号線の歩道をそのままにし、駅から大学病院までのバリアフリールートを別につくるのです。

駅公衆トイレ前を通り、線路沿いを進み、付きあたら右に回りそのまま市道2007号線に出る。あるいは、途中で左に曲がり自治医大前を走る県道に出るルートがよいでしょう。

車がめったに通らないから歩道を設置するまでもなく、点字ブロックの敷設と歩道の色分けをするだけで事足ります。事情を知る人はすでにこうしたルートを利用しています。

②JR沿い陸橋を渡るルートを増設

JR 宇都宮線の線路のすぐ横に、県道を横断する歩道橋がありますが、ほとんど利用されていません。

第二案は、駅公衆トイレ前からまっすぐ出る道路を延長して、この歩道橋に直結するルートを増設する案です。

増設箇所には、アパートの敷地の一部と、企業の使われていない工場の敷地の一部があります。また、すぐ横にはJRの使われていない引き込み線があります。地権者かあるいはJRの協力が得られれば、工事は簡単にすみます。

整備すれば、歩行者にとっては快適で安心して通行できるルートとなります。

③歩道に段差を設け、路上駐車を解禁する

歩行者の安全のためには、歩道に段差を設けるのが最も効果的です。しかしそれでは商売が出来ないという事業者に配慮して、市道2007号線車道の片側を一時駐車可能とするのです。

小規模商店にとっては客用駐車場の必要がなくなるし、配達の手、ごみ収集車、送迎の手なども、気兼ねなく車道に一時駐車できるようになります。客の手がいつも歩道を占拠している商店も助かります。

歩道の段差はどうしても困るという事業者や住民には、条件付で段差をなくします。その条件とは、歩行者優先を徹底すること、歩道の維持管理の費用を相応に分担すること、などです。

車社会で沸き出る問題は、歩行者に犠牲を強いるのではなく、車の恩恵に預かる者どうして解決するのです。了



正しく伝えて人とつながる 実用文教室

毎週木曜日午後6時~8時、
参加費は資料代含めて、1回500円。
参加随時、お問い合わせは当協会まで。